三条法人会長賞

『税金を払う理由とは』

加茂市立須田中学校　二年　萱森（かやもり）　圭吾（けいご）

私は今まで税金についてあまり深く考えたことはありませんでした。買い物をした時に消費税を払うぐらいで税金は大人が払うものというイメージを持っていました。しかし、税金について調べてみると、私たちの生活にも税金が大きく関わっていることを知りました。例えば、私たちが毎日通っている学校にも税金が使われています。学校の見物や教科書、道路や　信号など私たちが当たり前のように使っているものにも税金が使われています。また病院や消防署、警察署など我々日本国民が安心して生活するために必要なものにも税金が使われています。私は特に学校生活に税金が使われていることに驚きました。

普段は教室で授業を受けたり教科書を使ったりすることを当たり前だと思って生活しています。でも、それができるのは税金によって学校などの環境が支えられているからです。

そう考えると税金は自分とは関係のないものではなく、身近なものなのだと感じました。一方で税金はみんなが納める大切なお金なので無駄にして欲しくないと思います。２００７年の事件では、現状働く能力がなかった男性は生活保護が廃止されたあと、日記に「おにぎりが食べたい」と書き残して餓死した事件などを聞いたりする。集められた税金が本当に必要なところで使われているのかを考えることも大切だと思います。そのために私たちは税金がどのように使われているかを知ることが必要です。今はまだ自分の税金を納める機会は少ないですがこれから大人になれば税金を払う立場になりますその時何も考えずただ税金を払うのではなく、自分の生活に必要な大切な資金だと考えていきたいです。今回税金について調べたことで税金は遠い存在ではなく、私たちの毎日の生活を支えている大切なものだと分かりました。これから、ニュースなどで税金についての話題になった時も自分には関係ないと思自分たちの生活にどのように、繋がっているのかを考えていきたいです。

